

# 地域おこし協力隊通信

vol.63

集落支援担当 江坂文昭隊員



皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の江坂です。協力隊通信2回目の登場です。幌延に引越し、早くも6か月が経過しました。コロナ禍でイベントなどが中止になり、皆さんとお会いする機会がほとんどありませんが、寒い冬や雪道運転にもなんとか慣れてきて、毎日元気に過ごしています。

ところで、皆さんは『雪板（ゆきいた）』って聞いたことはありますか？スノーボードに似ていますが、ビンディングはなく、サーフィンのような感覚で新雪を滑る道具です。実は、ウィンタースポーツは、ほとんどやったことがなく、スノーボードは触ったこともありません。たまたまYouTubeの動画を見て、どうしても欲しくなり、調べていたところ、美深町の観光協会で作れることがわかったので早速行き、2枚作ってきました。



今シーズンの目標は、まっすぐ滑って止まれるようになることです。レギュラーは長さ120cm（写真右）、ショートは長さ80cmで、ショートはスケートボードのようにして遊べるので小さい公園などでも楽しめると思います。

材料は合板、道具は電動サンダー、電動ジグソーなどがあれば作れるので、『幌延雪板』として商品化できるかも知れません（夢です）。ご興味をお持ちになられた方は、お気軽にお問い合わせください。  
Mail: esaka.horonobe@gmail.com

集落支援担当 讚井孝廣隊員



こんにちは、地域おこし協力隊の讚井です。問寒別地区の地域交通支援のため、令和2年10月に移動支援車両の試験運行を始めました。当初の運行は金曜日のみの週1回でしたが、利便性向上のため12月中旬から月・水・金の週3回（祝日は運休）になりました。利用者からご連絡をいただき、診療所の問寒別出張診療日や年金支給日（偶数月の15日）、イベントなどの送迎も行っています。皆さんご存じでしたか？

先日の話になりますが、診療所の問寒別出張診療日にあっていた1月15日（金）、2名の住民の方から送迎の依頼をいただきました。これまでご利用いただいた方を含め「初めてだったからお願いするのにちょっと不安だった」「乗せてもらう距離がそんなに遠くないからお願いするのに気が引けてしまう」などのお声を伺いましたが、問寒別が住みよい町となるようお手伝いをしていくことが協力隊の役割なので、遠慮する必要はありません。

ぜひぜひ、地域おこし協力隊に送迎予約のお電話をしてきてください。予約は利用したい日の前日午後3時までに、下記の地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」までご連絡ください。

隊員一同、皆さんと移動支援車両でお会いできることを楽しみにしています。



お問い合わせ先：（観光振興）企画政策課 企画政策グループ

電話 5-1114 告知端末機 5-8814

（集落支援）地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」

電話・告知端末機：9-7367